

ホンダ車のエアバッグリコールについて
2016年4月7日付けリコール「3802」は、車上作動処理が可能です

平素はエアバッグ類の適正処理にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、今般本田技研工業株式会社より、『運転席側エアバッグが展開しない』という事象発生のリコール届出が行われました。

本件については車上作動作業時にインフレーター容器の破損による運転席側への破片飛び散り等は発生しないことから、通常の安全対策を行った上で車上作動処理を実施してください。

なお、ごく稀にインフレーター裏の着火部が脱落することによりエアバッグが展開しない場合がありますため、その際は取外回収の上、機械式専用容器に収納し指定引取場所に引渡してください。

対象車両

- メーカー名：ホンダ
- 年式・通称名：平成21年から平成24年製造のライフ、アクティ
- 型式：CBA-JC2、DBA-JC1、EBD-HA8、EBD-HA9、EBD-HA8改、EBD-HA9改
- 部位：運転席エアバッグ

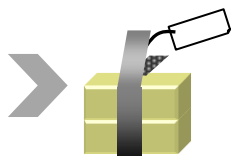
作業手順

作動しない運転席インフレーターは取外回収



※作動直後のインフレーターは高温のため、十分に冷えた状態で取外作業を行ってください。

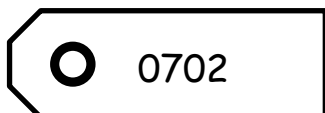
取外した運転席インフレーターは機械式専用容器へ収納



※インフレーター等に変形が見られる可能性があることから、機械式専用容器に収納ください。

荷札には車台番号4桁以上記入

例)



万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

自動車再資源化協力機構

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org